

倉庫・整備工場を新設

インタンクや洗車機も

青翔運輸

【埼玉】青翔運輸(古谷隆之社長、埼玉県杉戸町)は本社近くで倉庫や整備工場を相次いで新設している。老朽化に伴う増築のほか、インタンクの増設などによりドライバーの労働時間削減を図っていく狙い。いずれも2020年6月の完成を予定している。(谷本博)

本社近隣 来夏完成

倉庫の新設に当たり、本社事務所から200坪ほどの位置にある既存倉庫を解体。隣接地を買い増し、敷地面積3千平方メートルに拡張した上で、床面積1830平方メートルの平屋建て倉庫を建設する。雨天時の作業環境に配慮し、ひびきを9割確保

する計画。11月から土地の造成に入っている。本社事務所裏に建設する整備工場は、従来の整備工場の老朽化に伴う建て替えの形になる。一部2階建てとなる新工場は延べ床面積860平方メートルで、グループ企業のトラックの修理・鉸

ユラー8キロリットルの容量。軽油は2台が同時給油可能なことから、従来のインタンクと合わせて4台が同時給油可能となる。

古谷社長は「倉庫と整備工場建設はいずれも同じ職人が交代で作業するため、ともに6月竣工に合わせることもできるのが利点。今回新設するインタンクは屋根を付けるため、雨天時でも給油作業が楽になるなどドライバーに配慮した施設に切り替えていく」と話している。